平成 29 年度　各区の地域課題の解決に向けた取組状況について

清水区事務局会議・連絡調整会議　事務局　（わだつみ）

テーマ	病院に入院中の方の福祉サービス利用について
概要 （課題となるポイント）	精神科病院に入院している方の退院後の生活の場として、周囲の支援を必要とする方に関しては施設入所を検討することがある。その場合、ご本人が施設での生活ができるかどうかを確認するため、施設での体験利用が必要となる。体験として、短期入所等の福祉サービスを利用していく必要があるが、医療・福祉の請求の関係等から入院中の方は福祉サービスの利用ができない現状がある。
詳細 ・現状分析 ex.相談事例（相談者の声） 既存のサービス 既存のデータ	例：触法ケースの方で、周囲の方への影響を考慮し、緊急の対応として精神科病院に入院。入院後、状態が落ち着きつつあるため、退院後の生活をどのようにしていくかを検討。地域での生活が望ましいが、その方に関しては、実際地域ではご本人への理解が難しい状態であり、施設での生活をすることが支援機関内で望ましいと判断した。体験利用を行うために現状を医師に同意を頂いた後に一度退院の手続きを取り、体験を行うこととなった。また、体験後、状況に応じて再び入院手続きをしなければならない可能性が高い。 このように、入院中の方の生活の場として福祉サービスを利用するためにも様々な段階を経なければならない状況となっている。
事務局会議・連絡調整会議としての解決に向けた取組み ex.市場分析（環境分析） ニーズの把握	事務局会議の中で困難事例として挙がり、同様のケースで困難さを感じていることを相談支援事業所内で共有した。今後、同様のケースがどれ程あるのか等、アンケートなどを通じて把握するなど対応を予定。
解決策や今後の方針	・相談支援事業所を中心に、アンケート等を通じて現状把握を行う。 ・地域移行支援部会などの、福祉・医療関係者・行政機関等を交えて現状について協議する機会を活用し、迅速に福祉サービスを利用できるようにする等の対応策を検討していく。